

所管事務調査報告書

令和5年9月11日

洞爺湖町議会議長 大西 智 様

総務常任委員会
委員長 五十嵐 篤 雄

本委員会は、所管事務調査のため、次のとおり委員会を開催したので、その結果を報告します。

記

○所管事務調査

- 1 調査事項 (仮称) あぶた保育所複合化施設の進捗状況について
- 2 調査日 令和5年7月14日(金)
- 3 出席委員 五十嵐委員長、室田副委員長、小林委員、大久保委員、越前谷委員
- 4 説明員等 教育委員会 渋川教育長、管理課 高橋課長
高橋総務部長
- 5 調査内容

現在、本町保育所と入江保育所の統合移築については、複合化施設として建設が計画されています。建設予定地については、地域交流センターの敷地を含めた「みんなの森公園」付近と示されており、施設利用者への対応や、どのような施設を目指しているのか等、現在の状況について調査を実施しました。

6 調査結果

本町保育所と入江保育所の統合移築は、計画当初は複合施設ということではなく、保育所として建設することとしていたが、これまでの住民の意見等を踏まえ他の公共施設も活用した面としての複合化を基本に、子ども達がふれあう場の集約により、親同士、地域の住民との交流を生み出す場と子どもが安心して利用できる施設とするとのことである。

複合化については、町民への説明が不十分であったのではないかと感じるところはあるが、人口減少など将来のことを考えると概ね理解できるものである。また、地域交流センターを利用している各種団体との協議においては、既存の公共施設の維持管理のあり方や有効利用も考慮し進めることも必要である。

本事業の推進については、当初の計画から数年を経過し施設の建設が後年度へ遅延していることから、本来の目的である災害から子供たちを守ると同時に、保護者も気軽に利用できる場所として早期に整備を進めていただきたい。

また、近年は建築資材や人件費が高騰していることから、将来の幼児数を見据えた施設とするなど、効率的な建設費を考慮したものとしていただきたい。